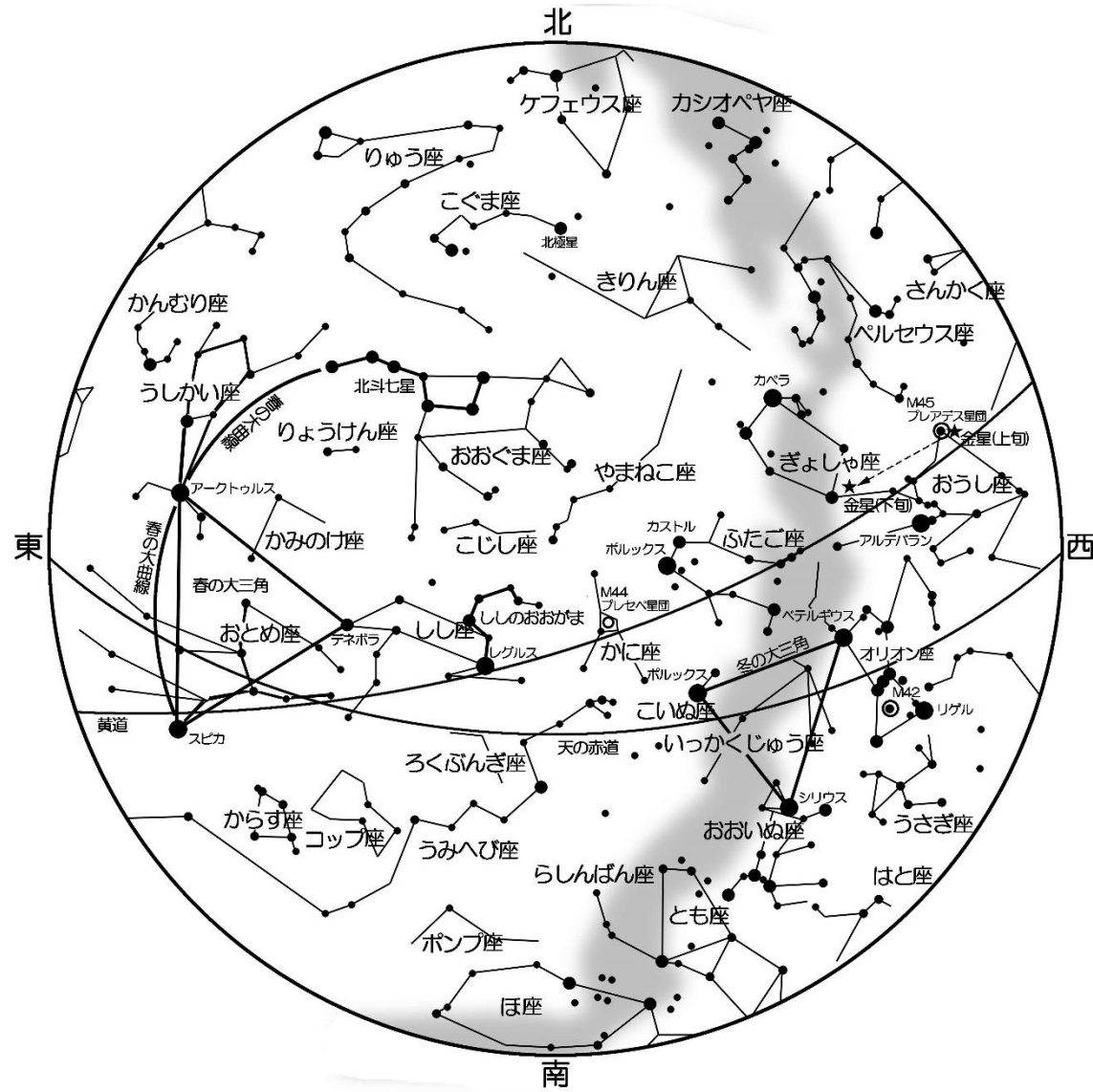


令和2年 4月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~



★4月の星空案内

今月は西の空では冬の星座、南から東の空にかけては春の星座を見ることができます。春の星座探しは、北の空に見えている7つの星でできる「スプーン」のような星の並び、“北斗七星”から始めます。この北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手のカーブに沿って南へ延ばしていくとオレンジ色っぽく輝くうしかい座の1等星アークトゥルス、さらに延ばすと、白色っぽく輝くおとめ座の1等星スピカが見つかります。アークトゥルスから近くの星を結んでいくと、北の空にのびる「ネクタイ」のような形が見つかります。これがうしかい座の目印、そして、スピカから「アルファベットのyの字」のように星を結んだ形は、おとめ座の目印になります。北斗七星からスピカまでの夜空に描かれる大きなカーブは『春の大曲線』といい、春の星座探しのよい案内役です。アークトゥルスとスピカに、しし座の2等星デネボラを結んでできる三角形は『春の大三角』といいます。デネボラの右(西)の方で輝く1等星は、しし座のレグルス。ここから近くの星を結んでできる「？」マークを裏返したような形を“ししのおおがま(大鎌)”といい、しし座を探すいい目印となります。ししのおおがま(大鎌)はししの頭から胸にあたる部分で、デネボラはししの尻尾にあたる部分です。

春は冬の星座に比べると明るい星は少ないですが、春の夜空に描かれる大きなカーブ『春の大曲線』をたよりに、春の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 水星(-1.1等前後):みずがめ座→おひつじ座付近 | 観測に適さない。 |
| 金星(-4.5等前後):おうし座付近 | 日の入り頃、西の空でひととき明るく輝く。 |
| 火星(0.7等前後):やぎ座付近 | 夜明け前、南東の空で赤っぽく輝く。 |
| 木星(-2.2等前後):いて座付近 | 夜明け前、南東の空で明るく輝く。 |
| 土星(0.7等前後):やぎ座付近 | 夜明け前、南東の空で輝く。 |

注目の天文現象 ~月が木星、土星、火星に次々と接近するようすを見よう!~

今月は夜明け前の南東の空で、地球と同じように太陽のまわりを回っている木星、土星、火星の3つの惑星を見ることができます。この3つの惑星は、いずれも地球より外側を回っている惑星で、太陽からの距離もそれぞれ異なります。(太陽から近い順に並べると、火星、木星、土星)

さらに、今月15日から17日にかけては、月が形を変えつつ、次々と各惑星に近づいていくようすを目にすることができ、夜明け前の空をにぎわわせます。15日には下弦の月と木星が接近して見え、16日には少し細くなった月が土星を通り過ぎて火星に近づき、17日にはさらに細くなった月と木星、土星、火星がバランスよく並ぶため、見応えのある景色となることでしょう。いつもより早起きをして、4つの天体がおりにす神秘的な光景をぜひご覧ください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	水	☾上弦 (19:21)	15	水	☾下弦 (07:56)
4	土	金星とプレアデス星団が最接近 (07:49)	22	水	4月こと座流星群が極大 (15時) 【条件:最良】
8	水	☉満月 (11:35) 【今年地球に最も近い満月: 約35万7,000km】	23	木	●新月 (11:26)
			28	火	金星が最大光度 (03:21) 【-4.5等】